

Live April, May 2010 Taeko Kunishima

「横浜」「九州」「京都」ライブ

国島妙子 作曲家、ピアニスト www.taeko.co.uk

04/24(土) (開演) 20:00

横浜エアジン

Tel(0)45-641-9191 www.airegin.jp

(共演) かみむら泰一(ts)大由鬼山(尺八)
須川崇志(wb)小山彰太(ds)

04/28(水) (開演) 20:00

福岡ニューコンボ

Tel(0)92-712-7809 www.f2.dion.ne.jp/~combo/

(共演) 吉田直也(as)Avan(wb)藤山和哉(ds)

05/01(土) (開演) 20:00

ジャズライブ 京都祇園キャンディ

Tel 075-531-2148 <http://www.h3.dion.ne.jp/~candy-h/>

(共演) 藤井美智(tr)山本久生(wb)



タエコ クニシマ(国島妙子)は、現在ロンドンを拠点に活躍している「作曲家、ピアニスト」である。

彼女が創り出す音楽とはどんなものか？ それには3つの要素がある。

- 1.) 彼女は、マイルス デビスやセロニアス モンクを初めて聴いた時の感動を今も覚えている。それをきっかけにジャズに魅了された彼女の作曲は、云うまでもなく、一貫してジャズの要素が強い。
- 2.) ヨーロッパのミュージック シーンの中で、様々な文化、異なったバックグラウンドを持つミュージシャンと共演していったプロセスにおいて、吸収するものも多かったし、彼等の影響も受けた。
- 3.) 彼女の故郷である「日本」というもの、「日本らしさ」というものが彼女の音楽の芯となって、流れている。これらの要素を組み合わせたものが、彼女の音楽であり、それが彼女の音楽をオリジナリティのあるものにしていく。2004年には初アルバムSpace To Beを33ジャズからリリースした。これは日本民謡を基にした曲もあり、彼女の日本人らしさを顕現にしたものである。2006年には第2作アルバム「Red Dragonfly」「赤とんぼ」をリリースした。これもあの懐かしい童謡「夕焼け小焼けの赤とんぼ」からインスピレーションを受け、創り出されたアルバムである。

プロジェクトのライブ活動は:

2001年 日本大使館主催のJapanese Festivalの一環でロンドンを中心にバンドツアーを皮切りに「London Jazz Festival」「Isle of Wight Jazz Festival」「Vortex Jazz Club」などで演奏した。

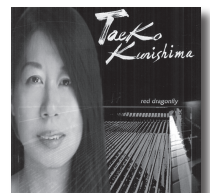
2006年 UKツアーを遂げる。

2008年 ピアニスト、アフメッド ジャマールのトリオのメンバーとして活躍していたアメリカ人ドラマー、デイブ ボウラーとドイツ、ハンブルグにあるジャズクラブ「シュテルパールク」などで共演した。

2009年 「横浜エアジン」での2回目帰国記念ライブ演奏では、サクソフォン竹内直氏、ベイシスト水谷浩章氏、山下洋輔トリオの二代目ドラマーとして活躍した小山彰太氏といった強力なミュージシャンと演奏し、イギリス、ドイツ、日本とライブ活動をさらに広めていった。



Space To Be
33JAZZ 094



Red Dragonfly
33JAZZ 145